

# 「リサーチ・アドミニストレーターを育成・確保するシステムの整備」(リサーチ・アドミニストレーションシステムの整備)事業

---



産学官連携・地域イノベーション推進機構  
産学官連携本部

## 福井大学の概要

### キャンパス

福井市 (教育地域科学部、工学部、国際地域学部)  
 永平寺町 (医学部、附属病院)  
 敦賀市 (附属国際原子力工学研究所)

### 学生数

学生数 (5,105名 (学部 4,064名 大学院 1,041名) )

### 就職率

複数学部を有する国立大学 10年連続就職率全国 1 位

※大学通信調査「全国大学実  
就職率ランキング2017」

教師教育、原子力安全、地域医療、産学官連携研究などに強みを持ち、就職支援成果の実績を有する国立大学。

### 平成28年度 改組

## 4 学部

(入学定員855名)

#### 国際地域学部設置

#### 工学部8学科から5学科へ再編

(地元産業に関連した繊維、原子力安全工学の学部コースを新設)

国際地域学部 (60名)	教育学部 (100名)	工学部 (525名)					医学部 (170名)	
国際地域学科	学校教育課程 ・初等教育コース ・中等教育コース	機械・システム工学科	電気電子情報工学科	建築・都市環境工学科	物質・生命化学科	応用物理学科	医学科	看護学科
60名	100名	155名	125名	60名	135名	50名	110名	60名



# 産学官連携研究開発推進機構の組織改編 H29.2.1施行

産学官連携推進のための  
組織能力の強化！

産学官連携・地域イノベーション推進機構

(H29.1.24役員会で構想承認)

COC関連

地域イノベーション推進本部

【新産学官連携本部体制】

産学官連携本部

新研究開発推進組織

新URA組織

産学官連携推進部門

研究統括部門

応用を意識した基礎研究～実用化研究  
に至る研究経営の強化！

産学官連携推進

連携企画部



地域産業研究開発拠点、  
事業化企画・推進、連携戦略等

共同研究推進部



共同研究推進、協力会部会活動、  
シーズ集、コーディネート活動等

計測・技術支援部



共用設備、拠点運営、  
オープンR&D、各種講習等

産業人材育成部



地域人材育成、国際化人材育成、  
MOT教育、起業活動支援等

外部資金等研究統括

研究企画・管理部

研究戦略・研究企画、研究分析、  
IR活動、研究戦略データベース  
管理、シーズ発掘、情報収集、  
pre-RA活動、post-RA活動、コン  
プライアンス、  
リスク管理、予算・執行管理、  
関連センター等運営管理等

知的財産・技術移転部

知財出願権利化、契約管理、  
技術移転、ライセンス、  
安全保障輸出管理



URA  
研究経験・学術  
的能力



専門事務  
職員  
学内ネットワーク、  
行政・経営能力



CD  
企業経験、技術  
的能力、学外  
ネットワーク



# 福井大学URAの職名・資格・任期等

## H24.10施行 H27.4任期改正

職種	職名	Level	資格・能力	任期 (初回のみ)	本給表	標準級
URA <small>(リサーチ・アドミニストレーター)</small>	シニア URA	5	次の各号のいずれか、又はすべてに該当する者で、経営及び研究マネジメント能力が極めて優れている者 (1)博士の学位(日本における博士の学位と同等と認められる外国の学位を含む。以下同じ。)を有している者 (2)研究機関等において、研究開発または研究支援業務の経験を有する者	3年  ※再任後の 任期なし	専門職  (国家公務員 「専門行政 職」準拠)	5級
	チーフ URA	4	次の各号のいずれか、又はすべてに該当する者で、経営及び研究マネジメント能力が特に優れている者 (1)博士の学位を有している者 (2)研究機関等において、研究開発または研究支援業務の経験を有する者			3級
	URA	3	次の各号のいずれか、又はすべてに該当する者で、経営及び研究マネジメント能力が優れている者 (1)博士の学位を有している者 (2)研究機関等において、研究開発または研究支援業務の経験を有する者			2級
	アシスタント URA	2	次の各号のいずれか、又はすべてに該当する者で、経営及び研究マネジメント能力を有している者 (1)修士の学位(日本における修士の学位と同等と認められる外国の学位を含む。以下同じ。)を有している者 (2)研究機関等において、研究開発または研究支援業務の経験を有する者			1級
STAFF <small>(事務職員)</small>	課長 ～ 係員	4 ～ 1	・修士の学位、または同等以上の業績・能力を有すること ・法令、研究契約、特許管理等の専門知識を有していること ・研究開発の経験があることが望ましい	—	一般職(一)	—

昇格可能

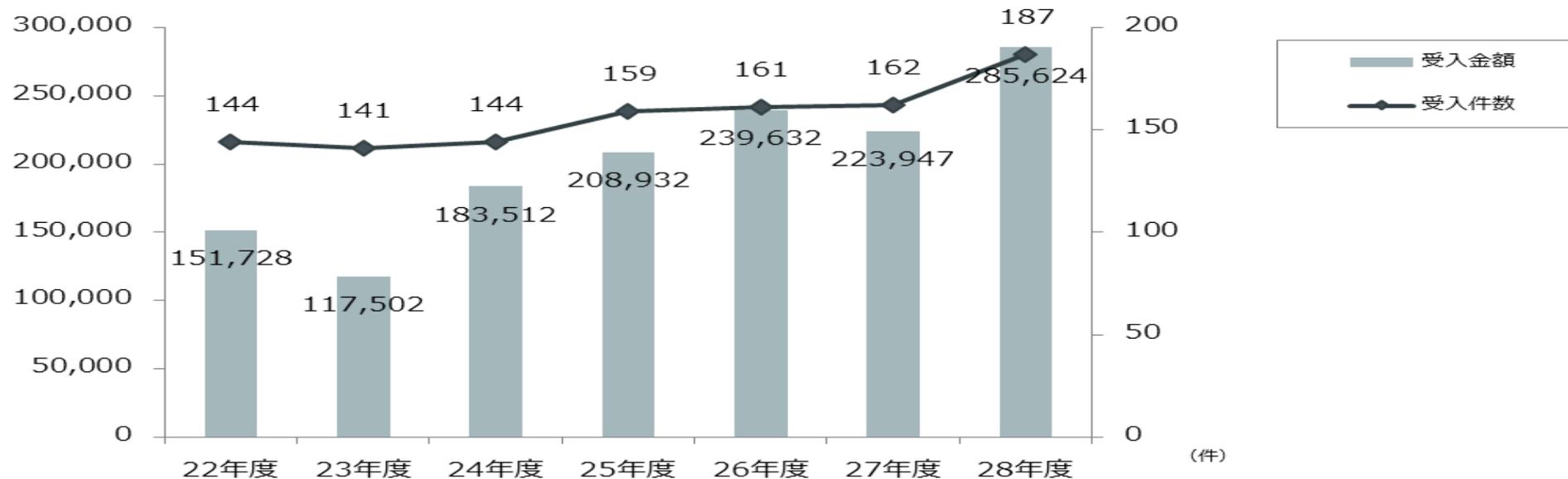
異動可能

※ 再任の可否は、審査の上、決定する。

## 科研費獲得額の順位について（30位台の推移）

	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H28（新規+継続）配分額・採択件数							教員数	学部数	医学部の有無
								配分額 （千円）	採択件 数	基盤研究の件数			備考				
										基盤研究 A	基盤研究 B	基盤研究 C	新規件数	新規採択 率			
〇〇大学	32	32	28	31	28	30	30	797,160	367	7	47	194	124	21%	741	5学部	有り
〇〇大学	27	30	30	28	29	31	31	789,360	384	3	38	223	122	23%	861	8学部	有り
〇〇大学	28	33	35	36	33	34	32	699,530	205	20	35	95	63	52%	378	4学部	
福井大学	44	42	38	34	32	35	33	682,500	328	2	23	182	121	25%	539	4学部	有り
〇〇大学	36	36	40	39	40	40	34	654,420	219	7	27	99	73	29%	341	1学部	
〇〇大学	37	40	33	35	39	33	35	633,490	282	5	37	123	109	28%	471	5学部	
〇〇大学	30	31	32	33	36	39	36	630,890	345	2	31	228	123	24%	769	5学部	有り
〇〇大学	35	34	37	38	37	38	37	623,090	325	6	20	165	115	19%	750	5学部	有り
〇〇大学	39	35	47	41	35	37	38	619,320	322	2	22	192	106	17%	794	4学部	有り
〇〇大学	38	37	34	32	34	32	39	618,150	309	1	29	198	98	20%	568	4学部	有り

## 共同研究の受け入れ推移（キャンパス別・全学）



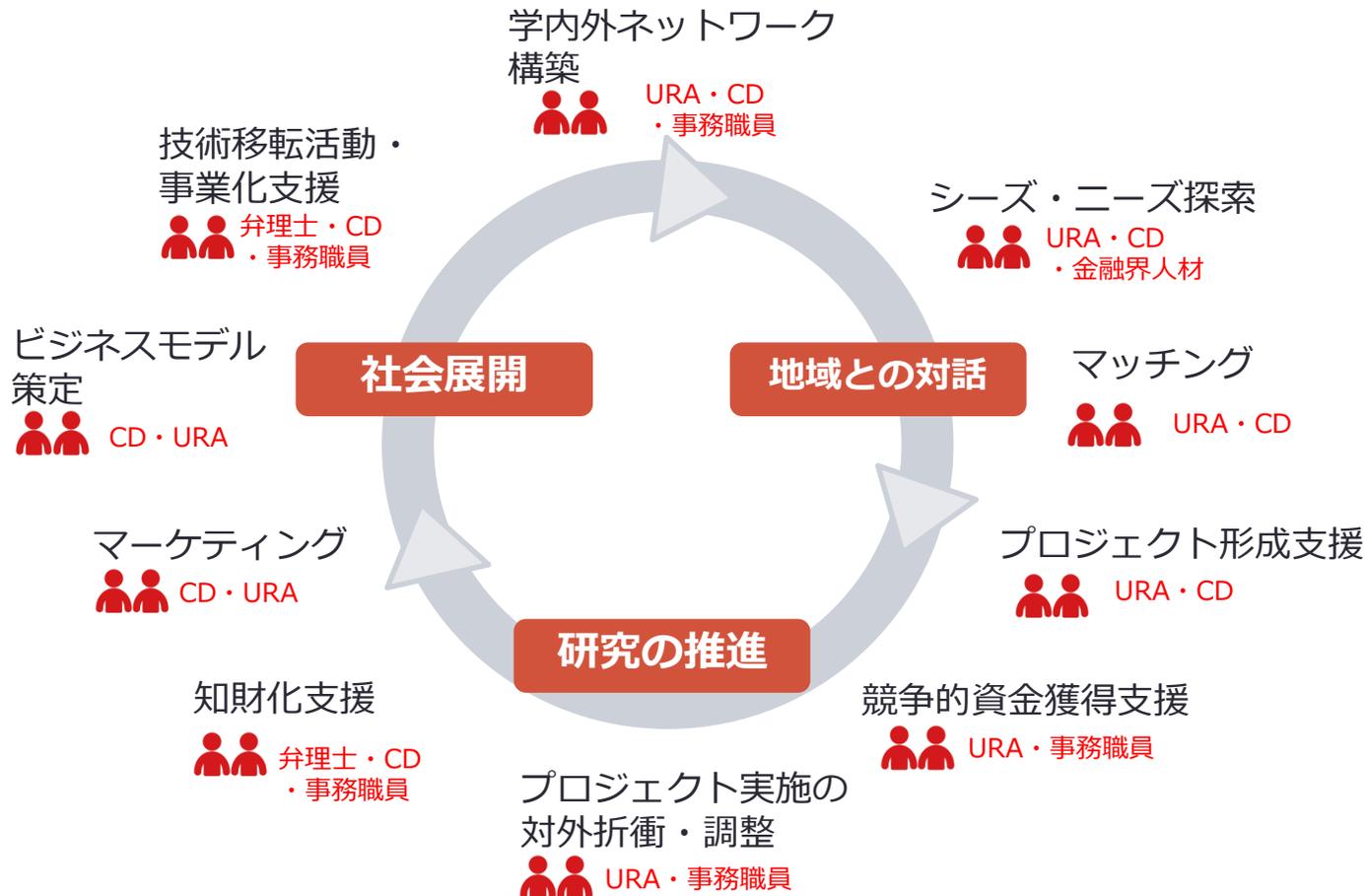
# 福井大学URAシステムによる産学連携支援 ～シームレスな伴走型支援～

## ①目的

研究者と伴走する形で密接なコミュニケーションをとりながら、地域との対話、研究の推進、成果の社会展開のサイクルを持続的に回すしくみを構築する。

## ②概要

URAとコーディネータ（以下、CD）、事務職員がチームとなって産学連携支援業務を実施する。これにより、研究パートナーの探索（入口）から技術移転・事業化（出口）まで、切れ目なく一貫した支援を実現している。

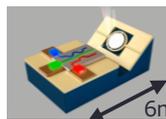


## ③成果及び効果の例（その1 / 2）

## （1）平成29年度 文部科学省『地域イノベーション・エコシステム形成プログラム』採択

## ワンチップ光制御デバイスによる革新的オプト産業の創出

福井大学  
日本原子力研究開発機構  
ふくい産業支援センター



3原色を合波する超小型光学エンジン  
従来比1/100以下

福井大学独自の革新的な光の制御技術をコアとして、光学エンジン（Integrated RGB Engine™）の技術開発を強力に推進し、ワンチップ化した超小型光学エンジン事業と革新的なオプト産業の創出をはかる。

## コア技術

## 地域の特性

## 課題の解決

## 社会展開

## 【SCOPE/総務省】

ロービジョン（弱視）ケアの実現を目指す、超小型化アイウェア型レーザー走査型ディスプレイの研究開発

- ・福井県レーザー高度利用技術研究会による精密光制御技術の蓄積
- ・鯖江地域の眼鏡用フレーム産業
- ・原子力関連の基盤企業

- ・レーザー光の合波制御で、ワンチップ化「超小型光学エンジン」を実現
- ・ロービジョンケアでQOL向上

- ・産業用分野、医療用分野へ展開
- ・原子力分野へ展開
- ・革新的なオプト産業創出で未来社会を切り拓く

## 【A-STEP/JST】

超小型レーザー・ディスプレイ用3原色光合波器の開発

地域人材の連携と育成、県内外大学・関係機関・金融機関連携を通じて、グローバル事業化に向けた、技術開発・実証評価・フィールド評価

## URAによる支援



競争的獲得支援  
コア技術育成



学内外ネットワーク構築



プロジェクト実施の対外  
折衝・調整



ビジネスモデル策定



プロジェクト形成支援



マッチング



知財化支援



事業化支援

研究の推進

～平成28年度以前

地域との対話

平成29年度以降～

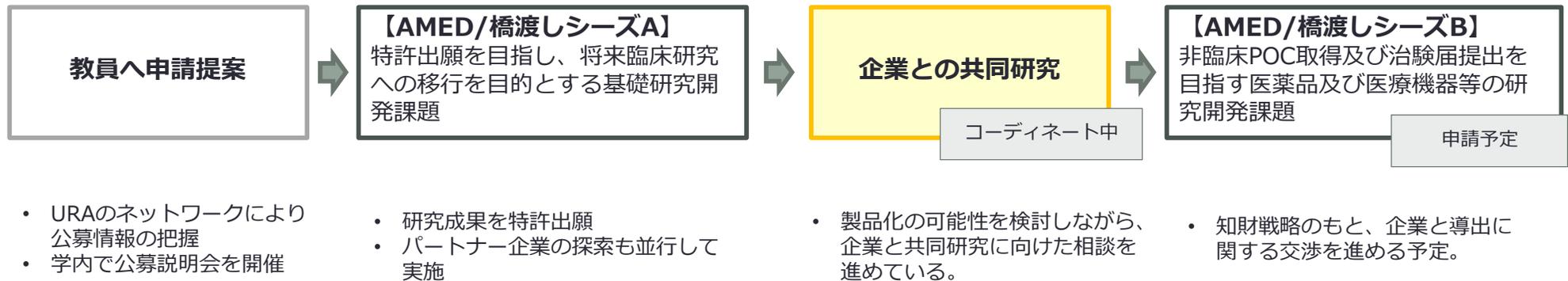
研究の推進

社会展開

## ③成果及び効果の例（その2/2）

## （2）平成29年度AMED橋渡し研究採択と共同研究をコーディネート

## ○○○○○の開発



## URAによる支援



～平成28年度以前

平成29年度以降～

# H29科学研究費補助金による研究実施中

(URA年次大会ポスター発表資料の一部)

P\_023

## 産学連携における共同研究推進のための 企業側研究吸収能力可視化指標の開発

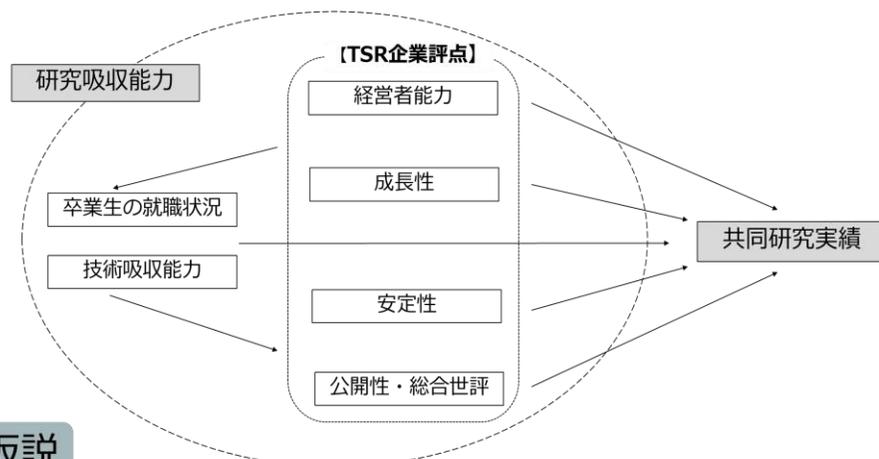


福井大学 産学官連携本部 研究企画・管理部 研究推進課：○山口 光男、中山 淑恵 / 連絡先:contact-fura@ml.u-fukui.ac.jp

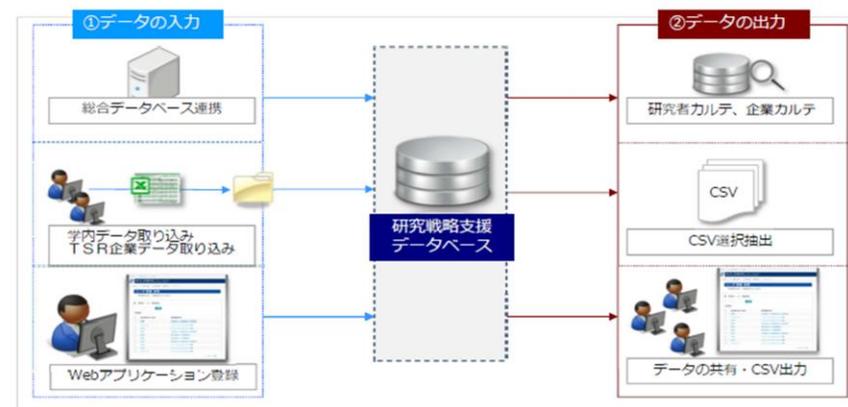
### 研究概要

大学と企業が行う共同研究のマッチング活動を行うにあたり、大学側の研究テーマの成熟度（完成度）と、企業側の研究吸収能力（大学の研究成果を理解して応用する能力）とのギャップをカバーするため、本研究では企業側の研究吸収能力を可視化するための指標の開発を目的とする。本研究では、研究成果の受け手側である企業情報を重視し、企業側の研究吸収能力を可視化したうえで、コーディネート活動を行おうとするところに特色がある。

### リサーチモデル



### 活用データベース（研究戦略支援DBに企業カルテを構築）



### 仮説

1. 経営上の評価が高い企業ほど産学連携に取り組む傾向がある。
2. 経営上の評価が高い企業ほど共同研究規模（受入額）が大きい傾向にある。
3. 卒業生の就職者数が多い企業ほど共同研究規模（受入額）が大きい傾向にある。
4. 技術吸収能力（特許数÷売上高）が高いほど共同研究規模（受入額）が大きい傾向にある。

- ・「研究戦略支援データベース」は、株式会社S R A東北と福井大学が共同開発
- ・研究・産学官連携活動におけるIR機能の強化を目的とし、大学の研究情報と産学官連携活動情報を集約して管理
- ・研究者カルテ、企業カルテを表示（研究者毎、企業毎の研究・産学官連携活動情報をカルテのように表示）
- ・企業カルテには、株式会社東京商工リサーチ（TSR）の企業情報も投入

# 産学官連携・地域イノベーション推進機構の設置

H29.10.1施行

